



第83卷 第3号 史学・地理学・考古学

論 説

- 「帝紀」・「旧辞」成立論序説……………笹川尚紀 (1)
武家儀礼と土師器……………中井淳史 (38)
南宋における新県の成立……………前村佳幸 (82)
——江西・江浙・広東を中心として——
元代集賢院の設立……………櫻井智美 (115)

研究ノート

- 地球図をあしらった南蛮屏風……………海野一隆 (144)
——在ミュンヘン本について——
システムとしてのローマ帝国……………ファーガス・ミラー (157)
井上文則 (訳)

書 評

- 見市雅俊著『ロンドン=炎が生んだ世界都市—大火・
ペスト・反カソリック』……………中川順子 (176)

紹 介

- ケヴィン・グリーン著、本村凌二監修、池口守・井上
秀太郎訳『ローマ経済の考古学』(布施谷友美)…………… (181)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

法の限界を痛感したが、その紹介者にとっても、本書はひとつの方向性を示す貴重な一冊であった。

(A5判 四三二頁 一九九九年六月)

平凡社 五二〇〇円)

(布施谷友美 京都大学大学院文学研究科修士課程)

「史林」投稿規定

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四〇〇字詰八〇枚以内

○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」を添付のこと。

◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

◇ワープロ原稿の場合には、フロッピー(MS-DOS)のテキストファイル、機種を明記する()を添付のこと。

送り先 史林編集委員会

〒616-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

御注意

図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。

「史林」投稿規定補足

ワープロデータ支給要領

※ワープロデータを支給していただく場合、左記の保存内容でお願いします。

・ 拡張子が「.TXT」となるテキストデータで保存して下さい。また、本文と注を分けて別のファイルとして保存していただいた方が作業が早くなります。

例 HONBUIN.TXT

・ 右記の保存方法が不可能な場合、ワープロ専用機の保存方法で結構ですが、機種名をラベルなどに記載下さい。Mac・パソコン(Windows)使用の場合、機種名に加えてソフト名の表記もお願いします。

・ 基本的に、投稿論文のデータのみを保存して下さい。 unnecessary データがある場合は明瞭にして下さい(ラベルに表記など)。

・ フロッピーディスクは、3・5インチ2DD(640KBモノ)か、3・5インチ2HD(1・2MB)でお願いします。フロッピー形式は明記して下さい。

【史料】 図版投稿規定

図版の掲載を希望される場合、編集委員会では印刷用図版の作成を一件につき五、〇〇〇円で請け負っております。投稿者自身で作成される場合は以下の事項にご留意ください。また、投稿された図版に不備のある場合は投稿者に修正を要求するか、編集委員会が修正いたします。但し、この際の経費は投稿者に負担していただきます。

◇図を作成する際、トレーシングペーパーや製図用セント紙などに、製図用インキを用いて明瞭に描くこと。線の大きさを一定に保つために製図用ペンを使用することが望ましい。

また、できる限り刷り上がり予定寸法の二倍程度（面積では四倍）で描き、希望縮小率を示すこと。

◇図中の文字は写真植字を用いて印刷するので、鉛筆書きにするか、もう一枚トレーシングペーパーを重ね該当箇所に文字のみ書き入れること。

なお、インスタントレタリングやタイプ・ワープロ文字を用いる場合には原図に直接貼り付けること。この場合は仕上

がり段階での鮮明度に注意すること。

◇写真の場合は写真原版が十分鮮明で明暗のコントラストが明瞭なものであること。刷り上がり予定寸法の一―二倍程度の版が望ましく、希望縮小率を示すこと（巻頭にアート紙を用いて掲載することを希望される場合は、割付・仕上がり等については編集委員会で調整します。また、掲載に関わる経費が投稿者負担になることがあります）。

コピーされた図も十分鮮明なものであること。不鮮明な部分がある場合は、掲載の主旨を損ねない程度に修正を加えておくこと。

◇表については、刷り上がりの段階を考えて大きさ・表現方法に留意すること。投稿された表そのものの掲載を希望される場合は、その旨を明記し、図に準じた体裁を整えること。

◇本文中に図表の割付箇所を明記すること。

編集後記

「死も亦社会奉仕」とは、毒舌で名高い石橋湛山が、かつて山県有朋の死を祝して発した名言である。似たような「社会奉仕」がちらほら見える昨今、「化石」はいつ死に絶えるのであろうか。むしろ、増殖しているのではないか。そんな気さえ起こってくる、今日このごろです。

八三巻の三号、多様な構成になりました。ご検討ください。（及）

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

二〇〇〇年四月二五日印刷 定価二二〇〇円
二〇〇〇年五月一日発行 送料六〇円

史 林 第八三巻第三号（通巻第四二二号）

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人 史 学 研 究 会

振替京部〇一〇七〇一五二五五番
理事長 礪 波 護

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上島羽粟田一丁目

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXIII No. 3

May 2000

CONTENTS

Articles :

- SASAKAWA Naoki : Introduction to the theory of the Compilation of
the Teiki and Kyuji (1)
- NAKAI Atsushi : The *Buke* Rites and Kyoto-style *Haji* Ware (38)
- MAEMURA Yoshiyuki : The Formation of New Counties in Southern
Song China : Case Studies from the Jiang xi (江西), the Jiang
Zhe (江浙) and the Guang dong (廣東) Regions (82)
- SAKURAI Satomi : The Establishment of the Academy of Scholarly
Worthies 集賢院 during the Yuan Dynasty (115)

Notes :

- UNNO Kazutaka : A Namban Screen Inserting a Map of the Globe :
Wittelsbacher Ausgleichfonds, München, Version (144)
- Fergus G.B. Millar : The Roman Empire as a System (157)

Book Reviews :

- MICHI Masatoshi : London : The Metropolis Born by the Great
Fire (NAKAGAWA Junko) (176)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369